



2021年5月12日

各位

会社名 神田通信機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 神部 雅人
 (JASDAQ・コード番号: 1992)
 問合せ先 執行役員管理本部長 田辺 正行
 電話番号 (03) 3252-7731

2021年3月期通期の連結業績予想と実績との差異及び
 剰余金の配当に関するお知らせ

2021年2月8日に公表いたしました2021年3月期通期の連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2021年3月期の期末配当について、2021年6月29日開催の第84期定時株主総会に下記のとおり付議することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異について

(1) 2021年3月期通期連結業績予想と実績との差異
 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	6,300	280	320	200	82円65銭
実績 (B)	6,545	497	568	339	140円55銭
増減額 (B-A)	245	217	248	139	
増減率 (%)	3.9	77.6	77.5	69.6	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	5,944	234	300	195	81円31銭

(2) 業績予想との差異理由

当初予想は新型コロナウイルスの影響による、材料の確保や建築工事の延期等が不透明でありましたので、業績へのリスクを見込み、さらに当社の投資および経費の削減および先送り等の施策を踏まえて業績予測を立てて事業を展開してまいりました。しかしながら、幸いにして当初予想に際して懸念した事項は少なく、概ね通年と同じ水準での施工が見通せる状況から、昨年11月には予想を修正いたしました。

売上高につきましては、上記に加えてコロナ対応と推測される工事、GIGAスクールや景気浮揚策に伴う工事、増収企業等の設備投資工事増加等の要因から、計画を上回る結果となりました。

利益面につきましては、首都圏でのネットワークインフラ構築工事の工事拠点の集約化、および売上が通年では9月ならびに3月に集中する傾向がありましたが、期末集中せず分散化されたことによる稼働効率の向上、外注費の削減等が営業利益を押し上げ、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回予想を上回りました。

2. 剰余金の配当について

(1) 2021年3月期期末配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年11月9日発表)	前期実績 (2020年3月期)
基準日	2021年3月31日	2021年3月31日	2020年3月31日
1株当たり配当金	35円	20円	20円
配当金の総額	84,690千円	—	48,077千円
効力発生日	2021年6月30日	—	2020年6月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付け、収益性の向上と財務体質の強化に努めるとともに安定的な配当を継続することを基本方針としております。

2021年3月期の期末配当につきましては、当初の通期連結業績予想を上回ったため、前回公表において20円としておりました期末配当を15円増配し、1株当たり35円とさせていただきます。

以 上